

アメリカで直に触れた文化の違いを述べることにする。

日本人、日本はよく人が温かいだとか優しいだとか海外からの評価はとても高いものであるが、自分が今回アメリカで感じたことは真逆でした。日本では見ず知らずの人と道ですれちがっても、目があったりしても何もないこと、何も起きないことがほとんどケースだと思いますがアメリカではそうではありませんでした。特に何をするでもなく散歩に出かけぶらぶらと歩いていたときたまたま人と目が合いました。知らず知らずのうちに身に付いた日本的対応を取りかけた自分でしたが相手はそうではありませんでした。笑顔で話しかけてきてくれたのです。たわいもない会話でした気分はとても良かったです。自分はこの時正直驚きました。スーパーやどこかへ買い物へ出かけたときも同じでした。確かに日本ではレジなどの接客の際笑顔で対応してくれることも多いですがあくまでも社会の風潮でありなければ態度が良くないと判断されることもあるためという人も少なくはないはずです。アメリカではそこに会話が生まれます。調子はどうだ？ 今日気はよくないなどといった日常的な会話ではあるけどその会話の中から生まれる笑顔は比べ物にならないほど本当の笑顔に近いのではないかと感じました。確かに日本は経済も大きく発達し昔では考えられなかったほどの利便性が備わっていると思いますが本当にそれが人にとっていいことであるのか、自分はアメリカの人と人の関係や温かさのほうがよっぽどいいと感じました。だから留学出発前にたくさんの方から言われた絶対日本がいい国だって思って帰ってくると言われたことがそうはなりません。

もう一つは寮生活の時に感じたことでこれは一概に善し悪しが判断しにくい異文化間の問題であると感じました。日本人は生活する中でマナーを重んじる国で確かにこれはとてもいいことですが、海外に行ってそのマナーが通じるかと言われればそうではありませんでした。様々な国の人生活を共にすることの大変さを予想も認識もしていなかった自分に非はあるにせよ寮で体験した多くのことは今では貴重な経験だったと言えるのではないだろうかと言える。これらのことから分かるように異文化を本当に理解するには何かを読んだりするだけでなく自らがその体験をすることが一番である。